

このコーナーでは、農業のちょっとしたコツを、市の営農指導員からお知らせします。

営農指導員の  
ワンポイントアドバイス

営農指導員 永興 啓

ラークスパバーを  
直売所へ出荷してみませんか

経営上の特性

ラークスパバー（別名チドリソウ）は青紫色や白色、桃色などの涼しそうな色合いで、初夏の花として人気の種類です。栽培は比較的容易ですが、開花期が2週間程度と短いので、経営の主力品目ではなく、補完的な花として取り入れるのが適しています。



作型

作型は露地栽培とハウスでの促成栽培があり、ハウスでは露地よりも1カ月程度開花が早まります。露地もハウスも播種（種まき）は9月下旬になりますが、開花は露地で6月ごろ、ハウスで5月ごろです。

栽培の方法

①播種

この花は直根性（根が真つすぐに伸びる性質）のため、9月下旬に直播とします。なお、播種が早

②肥料

播種の1カ月くらい前に堆肥の他、化成肥料を10平方メートル当たり1キログラム程度施用して深く耕しておきます。追肥（生育に応じて養分を追加で与えること）は4月上旬ごろに10平方メートル当たり500グラム程度施用します。

③生育中の管理

寒さには強い花ですが、株元に切りわらなどを敷いて防寒しておくことと安心です。草丈が30〜40センチくらいになったらフラワーネットを張り、倒れるのを防ぎます。

④病害（立ち枯れ病害）

できるだけ土壌消毒したハウスで栽培するとともに、高温、多湿を避けます。露地ではほとんど問題ありません。

切り花・出荷

6〜7分咲きの時に切ります。出荷前に切り花保存剤で処理すると花持ちが良くなります。

問い合わせ

農業振興課農業振興係  
0824・73・1131



庄原が

好き



びほく応援プロジェクト  
実行委員会  
の 八野 祐次さん

びほく応援プロジェクト  
実行委員会

新型コロナウイルスの影響で、休業や、時間短縮営業をしなければならなくなった事業者を、お手伝いしたいと考え、庄原市と三次市の仲間が集まって、実行委員会を発足しました。

地元のお店をみんなの力で

現在は、飲食店のテイクアウト（お持ち帰り）を応援するために、「びほくテイクアウト応援プロジェクト」と題して、ホームページやSNSを利用した広報活動を行っており、テイクアウト店舗の紹介や、テイクアウト商品のSNS投稿を呼び掛けている。

備北地域みんなが日常を取り戻せるように、何か力になればと思っています。

このコーナーでは、人と人とのつながりを大切にしながら、自発的なまちづくりに取り組む皆さんをシリーズで紹介しています。



掲載店舗一覧はこちらのHPから

フェイスブック



インスタグラム



#庄原が好き



shobara10さんの投稿  
庄原から毎月食材を  
購入して料理



「庄原ジビエのつくね」

SNSの投稿募集中  
「#庄原が好き」で投稿！

問い合わせ

自治定住課定住推進係  
0824・73・1257